



三河小だより

早いもので2月になりました。ずいぶん前のように感じますが、先週、日本全部を覆う大寒波と吹雪がありました。ご家庭での被害はなかったでしょうか。学校では、水道管を数カ所修理中です。

今月は、今年度最後の学習参観を予定(2月10日～17日)しています。数日に分けての実施になり、兄弟姉妹の多い所はご迷惑をかけますが、ご理解、ご協力よろしくお願い致します。

1月26日 1年生 生活科「昔あそび」(老人クラブの10名の方に…) <懐かしいな～>



3・4校時、1年生は生活科「昔あそびを楽しもう」の学習をしました。老人クラブの10名のGTの皆さんにわりながら、『けん玉・あやとり・だるま落とし・めんこ・おはじき・竹とんぼ・コマ回し…』にチャレンジしました。老人クラブの皆さんありがとうございました。



1月27日：来入児との交流会：5年生 (来入児保護者説明会)



午後から、令和5年度の来入児とその保護者を迎えて「来入児との交流会」「保護者説明会」を開催しました。

体育館では元気にかけっこ。5年生手作りのプレゼントをもらって、楽しそうに学校探検をしました。

(ちなみに、来年度の1年生は21名の予定です。)

元気な来入児たちに、優しく声をかけながら交流会を進める5年生が、頼りになるお兄さん・お姉さんに見えました。



「マスクを外してよい場面について」(福岡県教育委員会より)

現在、国は5月8日から新型コロナウイルスの扱いを2種から季節性インフルエンザと同等の5種に移行の方針で、具体的な検討をしています。

福岡県教育委員会より「**マスクを外してよい場面について**」のリーフレットが配布されました。その中に、**マスクを必ずしも着用しなくてもよい場面**が書かれています。例えば、屋外の登下校や屋内では会話をしないときの給食やテストです。

しかし、今までのように**2m以内で会話をするような活動の時は、マスクの着用を**

お願いしますとされています。基本的には、学校の活動の中で、すぐに大きく変わることはありませんが、マスクを外せる時は、子ども達に伝え確認をしながら取り組みます。これからは、子ども達自身も、状況をよく考えて判断できるようにしてもらいたいと思います。

また、「**相手の立場に立って接しましょう**」と書かれています。いろいろな立場の人がいることを考えましょう。この冬は、インフルエンザが流行しそうな予想もあって、予防のためのマスクとして、なかなか外せないかもしれません。新型コロナウイルスが早く落ち着いて、マスクの着用を気にしなくても生活できる時が来ることを願います。

2月3日、明日は節分！ 豆まき：「福は内、鬼は外」、恵方巻き：今年は「南南東」



「節分」とは、「季節を分ける」と言う意味で、各季節の始まりの日(立春、立夏、立秋、立冬)の前日のことです。昔の人は、季節の変わり目には邪が入り込むと考え、節分に邪気を追い払う、無病息災を願う行事を行いました。中でも、春は一年の始まりと大切にされ、江戸時代以降、節分といえは立春の前日を指すようになったそうです。(旧暦では、立春が新年の初めの日、その前日は

今の大みそかに当たります。)豆まきの行事は、邪気を払うために古くからあり、一番古くは室町時代の記録があるそうです。昔の人は、豆=穀物は、生命力と魔除けの力を持っていると考え、まめは「魔目」を鬼の目に投げて鬼を滅する(魔滅=まめ)に通じています。ちなみに、豆まきの豆は、生ではなく煎った豆を使いますが、「豆を煎る」は「魔の目を射る」にも通じるそうです。

